



イ 次のことを助言します。

◇お客さんには、無理やり来なさいと言ってはいけません。上手に宣伝して「やりたいな、見たいな」という気持ちにさせることが大切です。画用紙，工作用紙，色画用紙など，必要なものは先生に言ってください。すぐ準備します。

◇ポスターを貼る場所は中庭側の窓です。

◇同じ時間に，複数の係が同時に行うと，お客さんの数が少なくなるので気をつけましょう。

◇毎日催しをすると，他の係の催しに，お客さんとして参加できなくなりますので気をつけましょう。

ウ 係ごとの催し物一覧表を，はじめは教師がつくれます。黒板などを用意して，各係で書き込めるようにすると，重なりを自分たちで防ぐことができます。

エ ポスターを描かせ，掲示させます。同時に，帰りの会で宣伝させます。

\*\*\*\*\*

(3) ミニイベント活動に慣れてきたら，一単位時間のイベントにチャレンジさせる。

一単位時間のイベントとなると，しっかりした計画が必要になってきます。また内容によっては，計画案を学級会で話し合う必要も出てきます。

このようなイベントになると，他の係との協力体制をとらせることも大切なことです。

子どもたちが生き生きと係活動に取り組むための意欲を喚起するためのポイントを4回に分けてまとめてみました。

子どもたちは，係にはそれなりの興味をもっていろいろな活動を行います。そこを見逃さないで，いいところを見つけたら，帰りの会等で取り上げ誉めてください。みんなの前で誉めることが肝心です。学級通信などで紹介してもいいでしょう。それが一番の意欲喚起の方法かもしれません。

-----

## 2 学級通信を考える～その25：写真を載せる

山口市立平川小学校 梶田崇晴

-----

デジタルカメラを使えば，撮った写真をそのまま学級通信に載せることが可能です。デジカメ用のソフトがあれば，写真の加工も簡単にできます。イラストのことも書きましたが，写真が入った通信というのは，文字だけの通信より読みやすくて，状況も分かりやすくて，子どもたちにも保護者にも結構評判がいいですね。

最近印刷機の性能もよくなりましたので，写真製版モードで行えば，かなり鮮明

な写真を印刷することもできます。

子どもの写真を掲載する場合に気をつけておくことは、肖像権の問題です。保護者の中には、我が子の写真を掲載してほしくないと考えている方もおられますので、年度初めに文書を通して事前に承諾を得ておく必要があります。

---

### 3 第5回「希望の会」学習会in福岡 報告 その2

宗像市教育委員会 脇田哲朗

---

第5回「希望の会」学習会のお世話をしてくださった福岡の脇田先生が、希望の会のメーリングリストにその報告をされました。前号に続き、その紹介をさせていただきます。

#### ■分科会について

参加者数が、120余名を越えたことから、急遽、当初の5分科会から9分科会へ変更しました。そのことによって、その場でファシリテータをお願いしなければならなくなりましたが、どの会員も気持ちよく引き受けてくださり、熱心な協議が各分科会で行われました。

分科会では、先のシンポジウムを受けて、特別活動の各内容では「社会に参画する力」や「自治的能力」をどのように考え、どのように育成すればよいのかについてKJ法を用いながら協議してもらいました。以下、各分科会で作された文言です。

- 1 小学校学級活動分科会（低学年）：ファシリテーター＜西川会員・佐賀県＞
  - ・役割意識，ルールづくり・地域，家庭との連携・友達との関わり，仲間意識，話し合いのルール・意図的，計画的指導・保幼小の連携
- 2 小学校学級活動分科会（中学年）：ファシリテーター＜宮崎会員・福岡県＞
- 3 小学校学級活動分科会（中学年）：ファシリテーター＜清村会員・熊本県＞
  - 社会に参画する力
    - ・係活動の活性化・問題を見つける力・役割意識・アイデア・外への意識
  - 自治的能力
    - ・実践力・表現力・教師のスタンス・学級の雰囲気・話し合いを通しての問題解決能力・ベースとしての規範づくり
- 4 小学校学級活動分科会（高学年）：ファシリテーター＜平野会員・熊本県＞
  - 社会に参画する力
    - ・役割責任・表現力，コミュニケーション力・実践力・課題解決力・人間関係形成力・他者とのかかわり・協調性
- 5 小学校学級活動分科会（高学年）：ファシリテーター＜黒澤会員・福岡県＞
  - 自治的能力
    - ・学級活動の基礎の充実・年間指導計画・支持的風土・自己決定，集団決定・課題発見力・役割取得・活動を見通す力・評価，振り返り，価値付け

- 6 中学校学級活動分科会：ファシリテーター〈寺嶋会員・千葉県〉
  - ・企画，運営するための PDSC・生活指導との関連，開発的な生徒指導・他内容との関連を図る
- 7 児童会活動分科会：ファシリテーター〈大久保会員・福岡県〉
  - ・児童会テーマに向かって活動する実践力・決定力・支持的な風土・主体的な企画運営力・校内モデル・自分に何ができるか考え，行動にうつす・人間関係形成力・情報処理・提案力
- 8 クラブ活動分科会：ファシリテーター〈野口会員・福岡県〉
  - 社会に参画する力
    - ・よき先輩としてのリーダーシップと尊敬の念を抱くフォロアーシップ
    - ・異年齢児童に対する思いやりと尊敬
  - 自治的能力
    - ・教師に頼らない活動づくり（自分たちの力でできる）
    - ・コーディネートする力
- 9 学校行事分科会：ファシリテーター〈池田会員・福岡県〉
  - 社会に参画する力
    - ・奉仕（ボランティア）の力，地域へ働きかける力（かかわる力），提案できる力
  - 自治的能力
    - ・協力する態度，他者とかわる力，子どもに任せる部分の中で

以上，各分科会の模造紙に書かれていた文言を拾い出してみました。発達段階を踏まえた言葉，各内容の性格を踏まえた言葉が書き出されていると思います。これらの言葉からは，明快な答えを導き出すことはできません。しかし，ここには，参加者の皆さんがあの日々の分科会の課題を共有し，共に考え，自分の考えを述べ，受け入れるという時間を過ごしたという紛れもない事実があります。

参加者が全員，何か，一言でも自分の考えを述べる「希望の会」ならではの研究会のよさはここにあるのではないのでしょうか。

#### ■講話について

最後に，杉田調査官から『これからの特別活動の実践的課題』という題で講話を頂きました。講話の前段では，今村世話人代表から，「管理職（校長）としての特別活動の推進について」という内容のメッセージを頂きました。今村校長先生が，学校の特別活動の活性化に向け，保護者に特別活動を理解させる取り組みをなされたことや，父親学校会を開催されたことなどを短い時間でしたが，分かりやすくお話いただきました。併せて，新潟大会のお知らせとこの9月に明示図書から出された「小学校学級づくりの難所攻略12か月」の紹介もありました。

続いて，杉田調査官からのお話，新学習指導要領における特別活動の実践課題として次の3点を示されました。

学校生活（望ましい集団活動や体験的な活動）を通して，道徳的実践の充実を図る指導の定着

- ・ 道徳，総合的な学習の時間等との役割の整理
- ・ 道徳の重点化との関連

「なすことによって学ぶ」の指導プロセスの開発

- ・ 単元的な取組（一過性の活動からの脱却）
- ・ 言葉と体験，習得，活用，探求

地域，保護者との連携（学校を基軸としたコミュニティーづくり）の一層の充実  
そして，子ども達が学校に登校して，下校するまでの一日の生活の絵を示され，  
「子どもの生活を創る特別活動」，「できないことをできるようにする特別活動」の  
重要性を話されました。まず，私達は，学級づくり，学校づくりに嬉々として取り  
組む子ども達を，これからの実践で育成していかなければならないのだと教えてい  
ただきました。

ご講話は，それぞれの職能（管理職や教務主任，特別活動主任，学級担任 等）  
に応じるお話であり，誰もが2学期から実践しようという気持ちを抱くことができ  
たと思います。

私は，教員5年目の「杉田学級」で流通した紙幣のお話を非常に面白く拝聴しま  
した。（お聞きになっておられない方は，お尋ねになられたらいいですよ。）

このように，9月1日の第5回「希望の会」研究会は，特別活動について深く，  
深く考えることのできる研究会になりました。

そして，杉田調査官，今村世話人代表，MLに登場する人々を身近に感じた一日  
でもありました。

また，福岡県はもとより，遠く宮城県，埼玉県，京都府，岡山県，山口県，長崎  
県，佐賀県，熊本県，宮崎県，鹿児島県（後で，名簿を調べます。落としていたら  
済みません。）から参加くださった皆様，本当に有難うございました。十分におも  
てなしができたかどうか心配です。

さらに，この研究会に向けてスタッフとして頑張ってくれた，福岡の会員の皆様  
本当に有難うございました。ただただ，感謝，感謝です。

ひとまず，今回の研究会の報告を終わります。有難うございました。

追伸：この日の懇親会に，当初，30人の予定が60人も集まってくださったこと  
は，すでに杉田調査官や大庭校長先生のメールでご存知だと思いますが，  
「夜特活」も大盛況だったことをご紹介します。

---

#### 4 メルマガ編集部からのお知らせ

---

##### ◆次号の予告◆◇◆

第46号は10月上旬ごろ発行予定です。

次号は，「係活動の発展」についてお送りする予定です。

##### ◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は178名です。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。  
登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。特活の実践を広げ、共有していきましょう。

10月といえば学校行事だけでなく、全校集会などでも様々な取り組みが行われます。そこで、そのような行事に意欲的に取り組むためにどのような手だてを仕組んだらよいのか、情報交換できたらと思います。先生方が取り組んでおられる実践を紹介してください。

本メールマガジンでは、今後、以下のようなことについての情報を交流し合いたいと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

<実践投稿のヒント>

- 4月頃 出会いの演出・新学期の学級経営
- 5月頃 連休明けの学級経営のポイント
- 6月頃 室内でできる簡単イベント
- 7月頃 夏休み前の学級経営・1学期のまとめ
- 8月頃 子どもとのつながりを考える
- 9月頃 2学期スタートの学級経営・運動会と学級をつなぐ取り組み
- 10月頃 意欲的に行事に取り組む手だて
- 11月頃 学級目標の見直し・音楽会と学級づくり
- 12月頃 お楽しみ会の在り方・年賀状と学級づくり
- 1月頃 新年の誓い・新たな気持ちを学級づくりに生かす
- 2月頃 文集づくり・6年生を送る会のシナリオ
- 3月頃 お別れ式の持ち方・先生の通知票

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（防府市立西浦小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====